

「新 放射化学・放射性医薬品学 改訂第3版」

改訂薬学教育モデル・コアカリキュラム（平成25年度改訂版）対応一覧

2015.3（株）南江堂

改訂薬学教育モデル・コアカリキュラム		本書の対応章
C 薬学基礎		
C1 物質の物理的性質		
(1) 物質の構造		
④放射線と放射能	1. 原子の構造と放射壊変について説明できる。	1章
	2. 電離放射線の種類を列挙し、それらの性質および物質との相互作用について説明できる。	2章
	3. 代表的な放射性核種の物理的性質について説明できる。	4章
	4. 核反応および放射平衡について説明できる。	核反応：4章 放射平衡：1章
	5. 放射線測定の原因と利用について概説できる。	3章
C2 化学物質の分析		
(6) 臨床現場で用いる分析技術		
②分析技術	2. 免疫化学的測定法の原理を説明できる。	6章
	5. 代表的な画像診断技術（X線検査、MRI、超音波、内視鏡検査、核医学検査など）について概説できる。	7章、8章
D 衛生薬学		
D2 環境		
(1) 化学物質・放射線の生体への影響		
④放射線の生体への影響	1. 電離放射線を列挙し、生体への影響を説明できる。	9章
	2. 代表的な放射性核種（天然、人工）と生体との相互作用を説明できる。	
	3. 電離放射線を防御する方法について概説できる。	10章
	4. 非電離放射線（紫外線、赤外線など）を列挙し、生体への影響を説明できる。	9章
F 薬学臨床		
(2) 処方せんに基づく調剤		
⑤医薬品の供給と管理	5. 前) 代表的な放射性医薬品の種類と用途、保管管理方法を説明できる。	7章、10章